

飯能市職員温室効果ガス 削減行動計画年次報告書

(平成22年度実績)

飯 能 市

飯能市職員温室効果ガス削減行動計画

年次報告書の概要

1. 報告書の作成趣旨

飯能市職員温室効果ガス削減行動計画では、平成19年度を基準年として平成21年度から平成25年度までの5年間で、事業ごとに温室効果ガスの削減目標を定めています。この計画において、温室効果ガスの総排出量を把握し、削減目標に対する進捗状況について点検し、その結果を公表することとしています。本報告書は、平成22年度における各事業で排出された温室効果ガスの状況等を取りまとめたものです。

2. 飯能市職員温室効果ガス削減行動計画の内容

飯能市職員温室効果ガス削減行動計画は、平成20年度に策定し、計画の期間を平成21年度から平成25年度までの5年間としています。

計画では、本市の事務・事業を「市民生活関連事業」、「市民利用施設事業」、「教育関連事業」、「オフィス事業」に分け、それぞれの事業ごとに温室効果ガス排出量の削減目標を定めています。平成19年度を基準年として、平成25年度までに「市民生活関連事業」からの排出量は現状を維持し、「市民利用施設事業」、「教育関連事業」、「オフィス事業」からの排出量を6%削減することを目標としています。

3. 報告内容

「市民生活関連事業」、「市民利用施設事業」、「教育関連事業」、「オフィス事業」ごとの平成22年度における温室効果ガス排出量及び基準年である平成19年度との比較を掲載しました。

計画の対象範囲

○対象となる事務・事業の範囲

本計画は、本市の事務・事業のうち、本市の職員が直接実施する事務・事業のすべてを対象としており、区分は以下のとおりです。

・市民生活関連事業

水道・下水道・一般廃棄物処理・道路照明灯など市民生活に欠かせない施設等を管理・運営する事業です。

・市民利用施設事業

公民館、市民会館等、市民の利用に供する施設等を管理・運営する事業です。

・教育関連事業

小・中学校、幼稚園、保育所に関連する事業です。

・オフィス事業

職員の事務の執行に関連する事業です。

施設等の範囲

事業名	施設及び設備
市民生活 関連事業	クリーンセンター、環境センター、水道事業施設、浄化センター、原市場浄化センター、下水道設備、防災行政無線、道路照明灯、観光トイレ、公園、東飯能駅自由通路、市営中山団地共聴設備、飯能駅サービスコーナー、各施設の浄化槽
市民利用 施設事業	勤労青少年ホーム、市民会館、南高麗・原市場福祉センター、あけぼの子ども森公園、訪問看護ステーション、南高麗診療所、名栗診療所、図書館、こども図書館、市民プール、名栗スポーツ広場、屋外照明施設、武道場、名栗出張所（名栗公民館・図書館名栗分室含む）、公民館（出張所含む）、郷土館、観光案内所、あすなろ会館、ふるさと会館、旧南川小学校、旧北川小学校、その他本市が行う事務・事業の範囲の施設及び設備
教育関連 事業	つばみ園、市立保育所、市立小学校、市立中学校、名栗幼稚園、名栗・西川・南高麗給食共同調理場
オフィス 事業	本庁舎、本庁舎別館、第二庁舎、保健センター、保健センター名栗分室、土地区画整理事務所

温室効果ガスの排出量の状況

1. 温室効果ガスの活動量及び排出量の状況

平成22年度の本市の事務・事業に関する温室効果ガスの活動量は次のとおりです。

電気使用量のうち、約71%は水道事業、下水道事業、道路照明灯や一般廃棄物の処理など、市民生活を維持する事業に使用されています。

○全体（4事業）

項目	内 容	活 動 量	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算)	対平成19年度比
ガソリン	公用車・作業機械の燃料として使用	66,687 ㍓	154,825 kg	106.02 %
灯油	暖房用・空調設備の燃料に使用	88,699 ㍓	220,815 kg	47.28 %
軽油	公用車・発電機の燃料として使用	8,434 ㍓	22,090 kg	58.83 %
A重油	発電機・空調設備の燃料として使用	126,939 ㍓	343,957 kg	74.70 %
液化石油ガス(LPG)	LPG使用区域の公共施設で給湯設備に使用	36,234kg	108,712 kg	79.82 %
都市ガス	都市ガス使用区域の公共施設で給湯設備・空調設備に使用	347,385m ³	722,442 kg	124.64 %
電 気	公共施設の照明・事務機器、道路照明灯、機械・電気設備等で使用	22,595,563Kwh	7,659,895 kg	97.10 %
一般廃棄物の焼却	クリーンセンターの一般廃棄物の焼却量	18,223 t	1,850,303 kg	47.27 %
	上記のうち、廃プラスチック類の焼却量	568 t	(1,530,760 kg)	42.72 %
ディーゼル機関使用に伴う排出	浄化センター関連施設等における発電設備	29,907 ㍓	603 kg	20,100.00 %
ボイラー等への燃料使用に伴う排出	木質ペレット及び木材の焼却	833kg	22 kg	66.67 %
下水の処理に伴う排出	浄化センターにおける処理量	8,327,393m ³	566,929 kg	123.30 %
し尿の処理に伴う排出	環境センターにおける処理量	21,506m ³	28,530 kg	95.06 %
浄化槽の処理に伴う排出	公共施設のうち、浄化槽設置施設の浄化槽対象処理人員	4,639人	85,218 kg	101.46 %
自動車の走行量及び カーエアコンに伴う排出	バス・普通乗用車・軽自動車等の公用車 149台の走行量	754,047km	8,583 kg	108.36 %
	カーエアコンによる排出台数	132台		
全 体			11,772,924 kg	82.84 %

※HFC封入カーエアコン付自動車の使用に伴い、1台あたり年間0.015kgのハイドロフルオロカーボン(温室効果ガス)が発生します。

※排出係数・地球温暖化係数は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第3条(平成18年3月24日一部改正)排出係数一覧表の数値を使用しています。

電気使用量については、平成18年度東京電力㈱の排出係数を使用しています。

2. 事業別温室効果ガスの活動量及び排出量の状況

○市民生活関連事業

項目	活動量	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算)	対平成19年度 比
ガソリン	8,662 ㍓	20,110 kg	92.44 %
灯油	472 ㍓	1,175 kg	33.28 %
軽油	2,773 ㍓	7,263 kg	36.70 %
A重油	52,566 ㍓	142,434 kg	66.60 %
液化石油ガス(LPG)	119kg	357 kg	69.59 %
都市ガス	0m ³	0 kg	%
電気	16,116,384Kwh	5,463,454 kg	97.70 %
一般廃棄物の焼却	18,223 t	1,850,303 kg	47.27 %
	568 t	(1,530,760 kg)	42.72 %
ディーゼル機関使用に伴う排出	29,907 ㍓	603 kg	20,100.00 %
ボイラー等への燃料使用に伴う排出	0kg	0 kg	%
下水の処理に伴う排出	8,327,393m ³	566,929 kg	123.30 %
し尿の処理に伴う排出	21,506m ³	28,530 kg	95.06 %
浄化槽の処理に伴う排出	4,639人	85,218 kg	101.46 %
自動車の走行量及び カーエアコンに伴う排出	94,986km	1,082 kg	95.75 %
	19台		
全体		8,167,458 kg	78.98 %

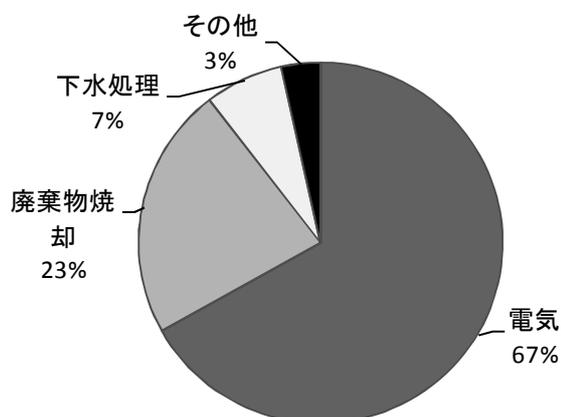


図1 各排出要因による排出割合 (市民生活関連事業)

○市民利用施設事業

項 目	活 動 量	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算)	対平成19年度 比
ガ ソ リ ン	10,367 ℓ	24,069 kg	165.06 %
灯 油	16,419 ℓ	40,875 kg	14.69 %
軽 油	638 ℓ	1,671 kg	92.32 %
A 重 油	2,390 ℓ	6,476 kg	119.51 %
液化石油ガス (L P G)	3,455kg	10,366 kg	77.61 %
都 市 ガ ス	96,667m ³	201,034 kg	98.40 %
電 気	1,867,800Kwh	633,184 kg	84.64 %
一般廃棄物の焼却	0 t	0 kg	%
	0 t	0 kg	%
ディーゼル機関使用に伴う排出	0 ℓ	0 kg	%
ボイラー等への燃料使用に伴う排出	333kg	9 kg	56.25 %
下水の処理に伴う排出	0m ³	0 kg	%
し尿の処理に伴う排出	0m ³	0 kg	%
浄化槽の処理に伴う排出	0人	0 kg	%
自動車の走行量及び カーエアコンに伴う排出	100,196km 23台	1,183 kg	119.98 %
全 体		918,867 kg	72.54 %

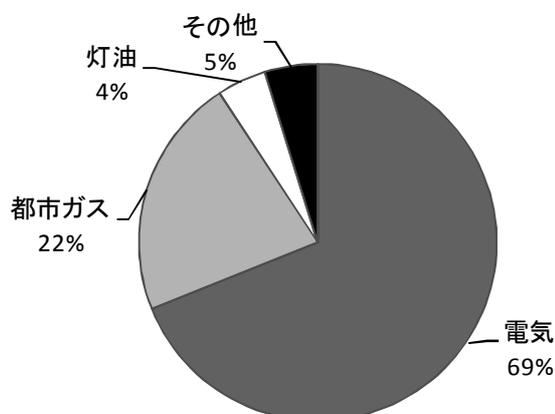


図2 各排出要因による排出割合 (市民利用施設事業)

○教育関連事業

項 目	活 動 量	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算)	対平成19年度 比
ガ ソ リ ン	4,846 ℓ	11,251 kg	243.42 %
灯 油	71,149 ℓ	177,124 kg	97.26 %
軽 油	882 ℓ	2,310 kg	53.97 %
A 重 油	69,283 ℓ	187,731 kg	80.10 %
液化石油ガス (L P G)	31,926kg	95,787 kg	79.11 %
都 市 ガ ス	199,277m ³	414,428 kg	147.48 %
電 気	3,753,481Kwh	1,272,430 kg	109.07 %
一般廃棄物の焼却	0 t	0 kg	%
	0 t	0 kg	%
ディーゼル機関使用に伴う排出	0 ℓ	0 kg	%
ボイラー等への燃料使用に伴う排出	0 kg	0 kg	%
下水の処理に伴う排出	0m ³	0 kg	%
し尿の処理に伴う排出	0m ³	0 kg	%
浄化槽の処理に伴う排出	0人	0 kg	%
自動車の走行量及びカーエアコンに伴う排出	43,425km 9台	531 kg	122.35 %
全 体		2,161,592 kg	108.37 %

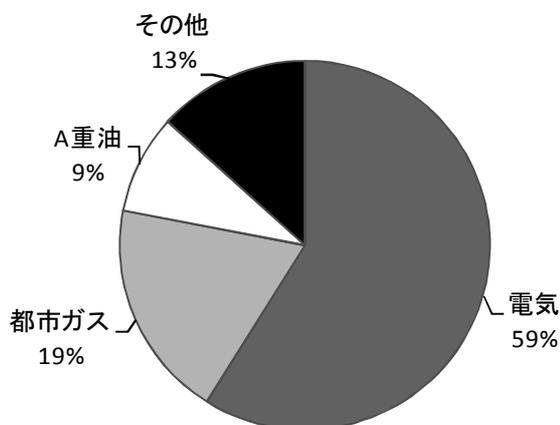


図3 各排出要因による排出割合 (教育関連事業)

○オフィス事業

項 目	活 動 量	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算)	対平成19年度 比
ガ ソ リ ン	42,812 ℓ	99,395 kg	94.59 %
灯 油	659 ℓ	1,641 kg	50.79 %
軽 油	4,141 ℓ	10,846 kg	92.95 %
A 重 油	2,700 ℓ	7,316 kg	108.00 %
液化石油ガス (L P G)	734kg	2,202 kg	176.87 %
都 市 ガ ス	51,441m ³	106,980 kg	113.45 %
電 気	857,898Kwh	290,827 kg	76.18 %
一般廃棄物の焼却	0 t	0 kg	%
	0 t	0 kg	%
ディーゼル機関使用に伴う排出	0 ℓ	0 kg	%
ボイラー等への燃料使用に伴う排出	500kg	13 kg	76.47 %
下水の処理に伴う排出	0m ³	0 kg	%
し尿の処理に伴う排出	0m ³	0 kg	%
浄化槽の処理に伴う排出	0人	0 kg	%
自動車の走行量及びカーエアコンに伴う排出	515,440km 81台	5,787 kg	107.75 %
全 体		525,007 kg	86.15 %

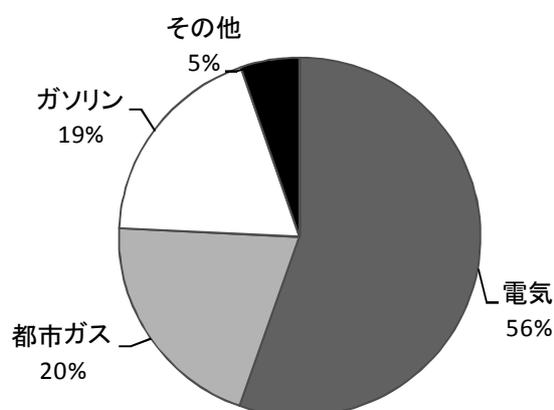


図 4 各排出要因による排出割合 (オフィス事業)

飯能市職員温室効果ガス削減行動計画年次報告書
(平成22年度実績)

編集 飯能市環境部環境緑水課

〒357-8501 飯能市大字双柳1番地の1

電話 042-973-2111 (代表)

FAX 042-971-2393

URL <http://www.city.hanno.saitama.jp>

E-mail kankyo@city.hanno.saitama.jp